「中国・アジア」ダイジェスト

2014.06.16－06.27

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

6月16日（月）

■タマダイ、中国に参入
自動車部品／日系を開拓

タマダイは、中国で自動車部品事業に参入する。日系メーカーを中心に親会社の大連晋炒金属制品で生産するアルミニウムダイカスト部品の提案。一部製品の生産を中国に移管する。（6面）

■富士電機、中国・浙江大と協業
蓄電制御・車載用パワーエレ

富士電機は、中国・浙江大学と、中国市場での研究開発や新事業構築に向けて協業することで合意した。蓄電制御や車載用パワーエレクトロニクスなどの分野で事業化を検討する。（11面）

6月17日（火）

■セーレン、中国で増産
車シート向け合成皮革2.4倍

セーレンは、中国で自動車シート向け合成皮革の生産量を2016年度に2.4倍の月38万㍍に引き上げる。現地に進出する日系自動車メーカーの増産や受注が拡大する北米向け輸出に対応する。（5面）

■オータックス、1.5倍日産9万個
SIMカードホルダー

オータックスは、深圳市のSIMカードホルダーなどの生産拠点に、外注を含めて1.5倍の日産能力9万個体制を年内に整える。約3億円投資。スマホ、タブレット端末関連需要増。（7面）

■中国製組み付け装置を販売
船舶の舵用／日下部機械

日下部機械は、船舶のスクリューや舵（ラダー）の組み付け装置の輸入販売を始める。組み付け装置は中国製。商社部門とメーカー部門を持つ自社の特徴を生かす。（9面）

■東レ、上海に新研究施設
樹脂・フィルム・炭素繊維複合材料

東レは、上海市の現地法人「東麗先端材料研究開発」で新たな研究施設が完成した。樹脂やフィルム、炭素繊維複合材料、水処理など中国事業拡大のための研究・技術開発拠点。（13面）

タイ工場で20年以上働いたベテランのタイ人がラオス工場で指導（アデランス＝17日付）

■中国販路拡大で事例集
在阪12社インタビュー／大商

大阪商工会議所は、中国ビジネスに積極的に取り組む在阪企業12社にインタビューし、内容をまとめた「中国販路拡大事例集―『中国でいかに売るか』を考える」を発行した。（27面）

6月18日（水）

■上海に最大級の技術センター
米TRW／ブレーキ・安全・エレ

米TRWオートモーティブHDは、上海市に同社最大級のテクニカルセンターを開所。ブレーキやステアリング、サスペンション、乗員安全システム、エレクトロニクスなど主要分野を網羅。（7面）

■IHI、中国で真空熱処理装置
江蘇豊東熱と合弁

IHIは、中国の江蘇豊東熱技術股份有限公司と真空熱処理装置の製造・販売の合弁会社を9月に設立する。自動車部品メーカーを中心に需要が高まり、現地生産化。（8面）

■三社電機、中国に第3工場棟
大型の電源機器／生産能力2倍

三社電機製作所は、中国の生産子会社・佛山市順徳区三社電機で3番目の新工場棟を新設。大型の電源機器生産を可能に。同工場での生産可能機種を拡大。生産能力も2倍以上。（10面）

■関ペ、中国に新工場
現地大手と合弁／粉体塗料年5000㌧

関西ペイントは、中国の粉体塗料大手・聖聯達江グループと合弁で中国子会社を設立し本格参入する。工場建設を進めており、8月から操業予定。年5000㌧の粉体塗料生産を目指す。（13面）

6月19日（木）

■OKIデータ、国内回帰
プリンター／深圳→福島

OKIデータは、深圳市で生産しているプリンターの一部を福島事業所に戻す。日本で需要の多いA3モノクロプリンターの移管に続き、今後は高付加価値品を中心に国産機種を増やす。（1面）

■日本モリマー、中国に供給
ユニットバス部材／公団住宅

日本モリマーは、中国でユニットバス向け部材供給を8月にも始める。日系大手住設メーカーが中国でユニットバス販売に乗り出すのに合わせて供給を開始。当初は公団住宅向け。（15面）

■リョーワ、大連市に現法
油圧機器の保守／機械工具を販売

リョーワは、遼寧省大連市に同社初の海外現地法人を開設する。日系企業の油圧機器メンテナンスを行う。また、現地で慢性的に不足している機械工具の販売事業も始める。（27面）

6月20日（金）

■日中経済協会、9月に代表団
国家指導者との会談申し入れ

日中経済協会は、9月に張富士夫会長を団長、榊原定征経団連会長を最高顧問とする代表団を北京に派遣。国家指導者との会談を申し入れる。直接対話の機会を探り、日中関係改善を促す。（3面）

■省人化対応に人だかり
北京国際工作機械・工具展

「北京国際工作機械・工具展」では、日系工作機械メーカーが省人化対応をアピール。賃金上昇を背景に人手不足が深刻化。ロボットや自動搬送装置を組み込んだ旋盤、MCに人だかり。（6面）

■工作機械、中国で攻勢
オークマ2.5倍／DMG森精機1.6倍

日本の大手工作機械メーカーが中国市場で攻勢。オークマは現地売上高を2016年度に2.5倍の500億円に。DMG森精機も同年度に1.6倍の200億円を目指し、現地生産品を3割に高める。（6面）

「北京国際工作機械・工具展（CIMES）2014」（ヤマザキマザック）

■汽水域の塩水を淡水化
フクハラ／中国・東南ア開拓

フクハラは、河口などの汽水域の塩水を淡水化する「汽水淡水化処理装置」を開発した。使用電力量が半分以下。中国や東南アジア地域では水資源不足が課題になっている。（29面）

6月23日（月）

■武蔵精密、中国第2工場
駆動系部品／ホンダ・独ZF向け

武蔵精密工業は、2015年秋をめどに、江蘇省に駆動系部品などを生産する新工場を稼働する。中国の生産拠点は広東省に続いて2カ所目。ホンダや独ゼット・エフ向け。（6面）

6月24日（火）

■一汽大衆、第5工場
候補に武漢など／今年の販売6％増

一汽大衆（独VWと第一汽車集団の合弁）は、中国で5カ所目となる完成車工場の建設を計画。候補地は武漢市と青島市、天津市。今年の販売目標は6％増の170万台。（5面）

■金融ICTで英国社と提携
KVH／日本・香港などで提供

KVHは、金融取引のインフラサービスを展開する英マーケットプリズムと提携する。金融分野のICT事業を強化するのが狙い。日本や香港、シンガポールで提供する。（8面）

■中国・レノボ、日本に新会社
IBMx86サーバ事業を承継

中国・レノボは、「レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ」を日本に設立した。新会社は日本IBMのx86サーバ事業を承継し、企業や官公庁向けソリューションを包括的に提供。（8面）

■玉川衛材、上海でマスク増産
日本に研究施設

玉川衛材は、上海のマスク生産工場を移転し、同じ上海地区内に新工場を7月に稼働する。生産能力は2割増に高まる。日本の本社ビル内に研究施設も月内に開設する。（10面）

次回は―

「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は7月14日（月）に掲載します。

6月25日（水）

■古河電工、中国などに新工場
車用アルミハーネス

古河電気工業は、自動車用軽量化部品のアルミ合金ベースのワイヤハーネス（組み電線）の生産拠点を2020年度までに、中国と東南アジア、北米の3拠点に新設する。（5面）

6月26日（木）

■シリコンバレーに技術調査拠点
上海汽車集団

上海汽車集団は、「世界の最新技術を知るための窓」とするため、米シリコンバレーに投資会社を設立する。また上海市郊外で新たな技術研究センターの建設に着手。（時事＝5面）

■国際紙パルプ商事、中国合弁
シュリンクナイロンケーシング

国際紙パルプ商事は、中国にシュリンクナイロンケーシングや関連包材を製造・販売する合弁会社を四川省成都に10月設立する。海外市場とパッケージ事業の強化。（13面）

6月27日（金）

■金子産業、中韓の生産拠点集約
ベトナム起点に東南ア開拓

金子産業は、ベトナムのホーチミンに2015年前半に現地法人を設立し、人件費が高騰する中国、韓国両現地法人の生産機能を集約する。ベトナムを起点に東南アジア市場を開拓する。（7面）

TELOP

■華晨汽車との合弁、契約を延長
BMW、2028年まで（時事＝25日5面）

■ヤクルト、天津第2工場棟稼働
日産225万本（25日21面）

ASIA

6月16日（月）

■マレーシアに省エネ車
ダイハツ／日本の軽技術活用

ダイハツ工業は、マレーシアで省エネルギー自動車の第1弾の小型車を9月にも投入。ダイハツが日本で培った軽自動車の低燃費技術や高効率生産のノウハウをもとに現地子会社で製造。（1面）

■HPの効果測定でアジア参入
UNCOVER TRUTH

UNCOVER TRUTHは、ホームページの効果を測定するツール「USERDIVE」でアジア市場に参入する。第1弾として7月中旬に中国とシンガポール、インドネシア、タイで提供。（11面）

■福島原発の解明―韓・伊で実証
エネ総合工学研／再発防止に

エネルギー総合工学研究所は、福島第一原子力発電所の事故原因を解明するため、イタリア、韓国で実証する。国の廃炉プロの一環で事故解析に海外の知見も活用する。事故の再発防止に。（14面）

6月17日（火）

■IHI、東南アで環境対策
パーム古木を燃料化

IHIは、国際農林水産業研究センターと東南アジアにおけるパーム油産業の環境汚染対策の事業化に向け提携した。まずパーム油産業が盛んなマレーシアで古木をメタンガスに変換する。（1面）

■ベトナム新車販売25％増加
5月1万2134台

ベトナムの5月新車販売が、1万2134台（国内生産8952台、輸入車3182台）と前年同月比25％増加した。前月比では7％増加。主要都市での自動車登録税引き下げなどが背景。（時事＝5面）

■SUS、日・タイに新工場
FA機器・装置

SUSは、国内外でFA機器・装置の新工場を相次いで稼働する。タイ・ラヨーン県で組立工場が夏に操業する。国内主力の菊川工場に機械加工、組み立てを行う第2工場を新設する。（9面）

■タイで変電所向け設備を受注
豊田通商／メコン川周辺開拓

豊田通商は、タイ電力公社から3カ所の変電所向け設備を受注した。受注額は約13億円で、同社がタイで変電所設備を受注するのは6年ぶり。メコン川周辺国への進出を目指す。（14面）

■ラオスでウィッグ
アデランス／タイから移管

アデランスは、タイでつくる既製品のウィッグの生産を、2018年をめどに全量ラオスに移管する。同社はラオス南部のサワンナケート県に自社工場を建設中で、9月に稼働。（15面）

■プロスパ、ミャンマーに新工場
建設現場の足場加工

プロスパは、ミャンマーで、建設現場やステージの足場に使うパイプ材の加工を始める。日本から輸入した完成品を販売していた。新工場を建設、手すり用のパイプなどを現地で溶接。（27面）

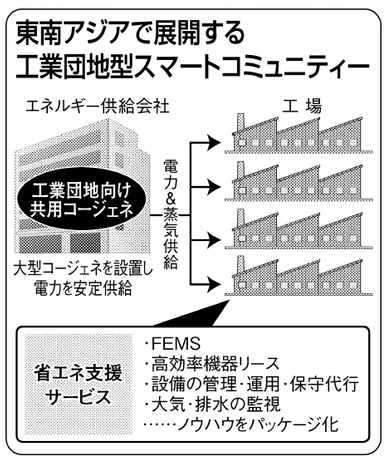
6月18日（水）

■トヨタ、低コストライン
投資4割減／タイなどに展開

トヨタ自動車は、投資額を4割抑えた新たなエンジン生産ラインを2015年に導入する。新ラインは今後、ブラジル、インドネシア、タイに展開、NR型エンジンの現地生産に活用する。（1面）

■〝工業団地丸ごと〟省エネ化
富士電機／東南アで事業化

富士電機は、東南アジアで工業団地型スマートコミュニティーに乗り出す。クラウド型工場エネルギー管理システムや環境改善ノウハウを生かし、〝団地丸ごと〟の省エネ化を支援する。（1面）



■NTTコム、タイに接続拠点
国際基幹回線網に直接接続

NTTコミュニケーションズは、国際インターネット接続の接続拠点をタイのバンコクに開設する。「IPv6」に対応する国際的な基幹回線網（バックボーンネットワーク）へ直接接続。（10面）

6月19日（木）

■日本電気硝子、マレーシア増強
ガラスファイバー3割／車部品向け

日本電気硝子は、マレーシア工場で、ガラスファイバーを増産する。約200億円投資。年産三十数万㌧から約3割引き上げる。電動化や軽量化で自動車部品への樹脂利用が高まっている。（3面）

■リーデン、インドネシア新工場
ワイヤハーネス／日系建機向け

リーデンは、インドネシアのワイヤハーネス工場を8月にも稼働する。日系の建設機械メーカーに供給する。中国工場から輸出しているが、生産リスクを分散するとともに、コスト削減。（8面）

受話器から外したコードを接続するだけで使用できる（左が音声会議用端末＝NTT－AT）

■NTT－AT、アジアで拡販
音声会議用端末／インドなど

NTTアドバンステクノロジは、音声会議用端末のアジア地域での販売を本格化する。最大15人程度の会議に対応する主力製品を2014年度中にもシンガポール、タイ、インドで発売する。（9面）

■ロキG、マレーシア新工場
フィルター年12万本／食品・化学など

ロキグループHDは、マレーシア・ジョホールバルに産業用フィルター工場を設立した。年産能力12万本。日系や現地のエレクトロニクス、食品、化学関連メーカーに供給する。（27面）

6月20日（金）

■コマツ、タイに協力会社組織
インドネシアにも

コマツは、タイに協力会社組織「コマツみどり会」を設立する。タイの現地法人と部材などで取引のある1次サプライヤー約60社を対象に選定して組織化。将来はインドネシアにも。（1面）

■日本勢、自動・高精度化に対応
マニュファクチャリング・エキスポ

「マニュファクチャリング・エキスポ」が、タイ・バンコクでが開幕。政情不安をよそに技術力を競うメーカーの熱気に包まれた。日系企業も多数参加、自動化や高精度化ニーズに対応。（6面）

「マニュファクチャリング・エキスポ2014」（タイ・バンコク）

6月23日（月）

■後発薬、海外投資を積極化
明治―インドネシア／ニプロ―ベトナム

ジェネリック医薬品メーカーが海外事業拡大に向けた投資を積極化する。明治HDは10億円でインドネシアで抗菌剤製造設備を増強。ニプロもベトナムで受託製造体制を整備。（1面）

■アジアの100カ所―DC接続
KVH／トラフィック急増

KVHは、アジアの100カ所に設けている自社や他社のDCの接続サービス「DCNet」を8月に始める。ネットワーク帯域が100㍍―10㌔㍍。DC間で急増するトラフィックに対応。（11面）

■イソライト、東南ア開拓
シンガポール増員／タイ合弁

イソライト工業は、東南アジアで工業炉の部材などに使われる耐火断熱材を開拓する。シンガポール支店と海外事業部を増員、現地に密着体制。タイやインドネシアは有力企業と合弁。（12面）

■住友林業、海外で増産
木質建材／1.5倍165万㎥

住友林業は、木質建材の海外の年産能力を約1.5倍の165万立方㍍に増強する。アジア・オセアニアを中心にパーティクルボードとMDFを供給する工場2棟の増設を検討。200億円投資。（14面）

6月24日（火）

■ベトナム製油所に流量計測装置
オーバル／韓国GSエンジ向け

オーバルは、ベトナムで建設予定の製油所・石油化学複合施設向けに流量計測システムなどを受注した。約10億円。JV5社のうち、韓国GSエンジニアリングの建設範囲。（7面）

■東アジアの現地通貨決済
電子商取事業者向け／SBT

ソフトバンク・テクノロジーは、電子商取事業者向けに、東アジアの現地通貨決済サービスを始めた。中国元や香港ドル、台湾ドル、韓国ウォンに対応。売り上げや契約管理、経理を代行。（9面）

■クロタニコーポ、タイに合弁
金属スクラップ／加工・販売

クロタニコーポレーションは、金属スクラップの調達や販売事業を強化するため、タイに合弁会社を設立する。まずはタイで銅やアルミなどの金属スクラップを仕入れ、加工・販売する。（11面）

6月25日（水）

■東芝プラント、タイで受注
発電所4基／500億円

東芝プラントシステムは、タイでコンバインドサイクル発電所4基を住友商事と共同で受注した。受注額は500億円程度。出力12万㌔―13万㌔㍗を中部の工業団地内に建設する。（6面）

■帝人、タイに新工場
タイヤコード／年1万6000㌧

帝人は、タイ・アユタヤ県に新会社「テイジン・FRA・タイヤコード（タイランド）」を設立し、撚糸や製織、接着加工の工程を備えたタイヤコード工場を新設する。年産は約1万6000㌧。（10面）

6月26日（木）

■アジア開銀と環境協力
低炭素化基金を設置／環境省

石原伸晃環境相は、中尾武彦アジア開発銀行総裁と環境協力に関する覚書に署名した。同省が18億円をADBに拠出し、アジア各国の低炭素化を進める「JCM日本基金」設置でも合意。（2面）

■ASEAN4、13.4％減
日系1－3月／4兆9000億円

1－3月期の海外現地法人四半期調査によると、タイを中心とするASEAN4における日系企業の売上高は、前年同期比13.4％減の481億㌦（約4兆9000億円）。3期連続で前年割れ。（2面）

■大阪富士工業、ベトナムに工場
鉄鋼・電力／設備部品の補修

大阪富士工業は、2018年3月期にベトナムで5億円の売り上げを目指す。鉄鋼や製紙、電力関連の設備部品の補修の現地法人を設立。工場建設に着工し、2015年4月の本格稼働を目指す。（8面）

■日系エレベーター、インド攻勢
東芝－5割増員／三菱－中低層参入

日系エレベーターメーカーが、インドで攻勢。東芝エレベータは販売・保守を5割増の300人体制にする。三菱電機は中低層建物に参入。インドが中国に次ぐ規模に成長。（9面）

日系昇降機メーカーのインド事業の状況

東芝エレベータ	・販売・保守要員を1.5倍に増強 ・インドでの工場開設を検討
日立製作所	・累計で900台受注 ・インド最高速の機種を受注
三菱電機	・製造販売を行う新会社を設立し13年に本格始動 ・プレミアム市場で拡販
フジテック	・インドに最適な標準機種投入 ・インド市場の販売拠点拡大

6月27日（金）

■ベトナム人の技能実習生100人
IHI／LNG貯蔵タンクなど

IHIは、愛知工場でベトナム人の技能実習生を100人以上受け入れる。海洋資源開発向けの大型構造物やLNG貯蔵タンクなどの仕事量が拡大している。溶接や加工工程に配属する。（1面）

■楽天、格安航空に参入
中部空港を拠点／「トラベル」充実

楽天が、マレーシアの格安航空会社エアアジア日本法人に出資を検討。中部国際空港を拠点に路線を展開する公算が大きい。「楽天トラベル」で販売する商品を充実。（3面）

■JFEエンジ、2社を買収
インドネシア／インド

JFEエンジニアリングは、インドネシアとインドで現地企業を買収する。インドネシアは設計コンサル買収で、原油・ガス生産設備を強化。インドはゴミ処理発電事業を強化。（7面）

■医療用画像診断マレーシア生産
東芝メディカル

東芝メディカルシステムズは、マレーシアのペナン地域に医療用画像診断システムの製造拠点を開設する。主に超音波画像診断装置を製造する。東南アジアのほか、欧州、中東にも輸出する。（13面）

■タイに体験型研修施設
竹中工務店／現場監督向け

竹中工務店は、タイの現地法人であるタイ竹中に、施工管理者（現場監督）向けの体験型研修施設を開設した。施工管理技術・知識を確実に伝承するため、実際に使う資機材で検査実習。（14面）

TELOP

■マレーシアに子会社
東芝エレベータ（17日10面）

■シード、アジアで拡販
コンタクトレンズ（17日12面）

■インドネシアで労働問題コンサル
MTIジャパン（18日33面）

■貿易赤字5月9090億円
アジア・米輸出が減少（19日2面）

■シンガポール大学校舎工事を受注
鹿島／120億円（19日3面）

■インドネシア最大の銀行と提携
あおぞら銀行（20日15面）

■インドネシアルピア建て送金
埼玉りそな銀行（20日15面）

■マレーシアでLTE
KDDI（23日11面）

■名機製作所、タイ子会社を解散
日本製鋼所に移管（24日7面）

■台湾の大手広告関連と提携
大日本印刷（24日8面）

■ツルハ、タイの店舗倍増
郊外型など20店出店（24日13面）

■ヤクルト、フィリピンに「ライト」
健康志向（24日13面）

■日産、アジア販売11％減
5月1万9810台（時事＝25日5面）

■三井住友カード、東南ア調査室
シンガポール（25日23面）

■マラリア予防蚊帳、東南アで販売
住友化学・イオン（26日13面）

■カンボジアで自動車販売金融
豊田通商（26日14面）

■マレーシア窒素ガス製造装置稼働
岩谷産業（26日14面）

■アサヒビール、韓国にビールバー
ソウル／プサン（27日15面）

■ミャンマー2行と覚書
三菱東京UFJ銀行（27日19面）

■インド中小団体と覚書
九州経済連合会（27日33面）

■スマコミ企業化調査支援6件採択
カンボジアなど／経産省（27日2面）

■日本―カンボジア、チャーター便
アトランティック航空（27日3面）

● ひと

紙の文化が残っている

「東南アジアで濃淡がある」と、サカタインクス社長の森田耕太郎さん。ベトナムでは、中国情勢で工業用段ボールの印刷インク需要に影。新興国でも紙媒体のデジタル化が進むが、インドでは1日1億部超の新聞が発行。「アジアにはまだ紙の文化が残っている」。（16日＝12面）